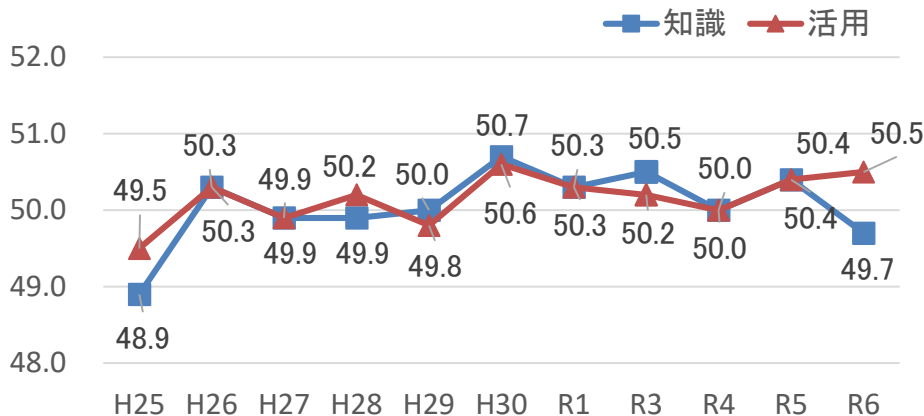


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○活用は偏差値50を上回っている。
▲知識は偏差値50を下回っている。

2 観点別の結果

観点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	57.6	57.6	57.2
思考・判断・表現	43.4	43.3	45.0
主体的に学習に取り組む態度	38.7	36.1	39.3

○全ての観点において、全国正答率以上となっている。

3 領域別の結果

領域	県正答率	全国正答率	目標値
聞くこと	62.3	63.5	62.2
読むこと	56.1	56.1	56.8
書くこと	34.1	32.8	35.0

○「書くこと」において、全国正答率を上回っている。
▲「聞くこと」において、全国正答率を下回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	58.9	59.7	59.8
短答	40.0	39.4	38.3
記述	36.7	34.8	37.2

○「短答」と「記述」において、全国正答率を上回っている。
▲「選択」において、全国正答率を下回っている。

■ つまづきが見られた問題

大問2(2)

県正答率 34.4% 全国正答率 39.4%

【問題例】

下に示した短い対話文を3つ聞き、その対話の3つ目の対話文への応答として最も適切なものを選ぶ。

〈対話文例〉

A: Jason will come to Oita from Canada next Sunday, Yuji.

B: I know, Ken.

A: Let's do something fun for him. Do you have any ideas?

〈選択肢例〉

1 That's nice. 25.1%

2 We can play music for him. 34.4% 正解

3 We can buy a present for her. 17.0%

4 Let's enjoy it. 23.0%



【課題】

▲対話の概要を捉えることができていない。

(思考・判断する問題)

▲聞き取った質問に対して、適切に応答できていない。

◆ 指導のポイント

① 英文を聞く目的や場面、状況を明確にした上で、言語活動を設定し、生徒が思考・判断して聞く活動を授業に仕組む。

② 聞くポイントを生徒と共有する。

※「聞くこと」の目標ア(必要な情報を聞き取る)、イ(話の概要を捉える)、ウ(説明の要点を捉える)の違いを踏まえた学習活動を仕組む。

③ 英文を聞くことを苦手と感じる生徒への手立てを講じる。

★ 指導の具体例

① 「英文を聞いて、把握した内容について、適切に応じることができる力」を育成するための学習過程

1. 「聞く」目的や場面、状況などを把握させ、見通しをもたせる。
2. 英文を聞き、応答すべきことを捉えさせる。
3. 考えや情報などを整理し、表現(話す・書く)させる。
4. ペアで交流させたり、言語面と内容面における指導をしたりすることで、考えや情報等を再整理し、表現を改善する。
5. 学んだことを言語活動で再び活用し、学習を振り返る。

② 英文を聞いて「概要を捉える」際のポイント

- 話されている場面や状況を踏まえて聞く。(会話文であれば、誰と誰が、どのような場面で、どのようなテーマで話しているのか等)
- First、Second等の表現に注目し全体の構成を意識して聞く。
- 図や表にまとめながら読む。

※(参考)「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より

③ 英文を聞くことを苦手と感じる生徒への指導

- 意味のまとまりでポーズを取るなどし、スクリプトを読ませる。
- 聞き取れなかった部分を、スクリプトで確認しながら聞かせ、その後もう一度スクリプトなしで聞かせる。
- 聞けなかった箇所を意識しながら音読させる。
- 音の連結や変化、強弱等が現れている部分を、スクリプトを見ながら聞き、確認させる。
- 1人1台端末を活用し、英語の音声のスピードを調整したり、聞きたい部分を選択して聞くことができるようにする。

※(参考)「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より